

企画県土警察常任委員会資料

(平成21年8月21日)

【報告事項】

- 1 第7回とリアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催について
【文化政策課】・・・ 1ページ
- 2 万葉大好き先生 中西 進さんの特別授業「万葉集っておもしろい！」の開催について
【文化政策課】・・・ 3ページ
- 3 第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果概要について
【交流推進課】・・・ 4ページ
- 4 米子ーソウル便の利用状況及び利用促進対策について
【観光政策課】・・・ 7ページ
- 5 環日本海貨客船航路の利用状況及び利用促進対策について
【観光政策課】・・・ 8ページ

文化観光局

第7回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）の開催について

平成21年8月21日
文化政策課

第53回鳥取県美術展覧会（県展）の開幕日である9月19日（土）から11月30日（月）までのおよそ2ヶ月半、第7回とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）を開催し、県内各地において様々な文化芸術の催しを実施する。

1 目 的

鳥取県総合芸術文化祭は、「国民文化祭とっとり」の成果を継承発展させるべく平成15年度から開催し、特色ある地域文化の振興を図ることを目的に、県民自らの手による文化芸術の祭典として、実行委員会方式で実施している。

2 期 間 平成21年9月19日（土）～11月30日（月）

3 主 催 者 等 主催：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県、鳥取県教育委員会、財団法人鳥取県文化振興財団、鳥取県文化団体連合会、財団法人自治総合センター
共催：市町村、市町村教育委員会

4 事業の主な内容

(1) 実行委員会が主催する事業

事業名	日程・会場	内 容
メイン事業 「新・朝日座」	◆10/31（土） ～11/3（火・祝） 米子市公会堂 公会堂駐車場 本通り商店街 元町サンロード他	鳥取県の文化芸術が「ほんもの」で「価値あるもの」だと気づいていただくため、県内各地の独自文化の特性を活かした作品を創造します。今年度は、「新・朝日座」と題し、米子市公会堂を中心に、商店街など「まち」全体を“座”に見立て、多種多様な催しを実施。目玉は公会堂大ホールで上演される、幸田露伴原作の新歌舞伎「名和長年」。8代目松本幸四郎が演じて以来44年ぶりの再演です。
【企画公募委託事業】 キラリ☆アートプロジェクト（旧県民企画アートチャレンジ事業）	①10/24（土）・25（日） 米子市淀江文化センター ②11/13（金）～15（日） 米子市文化ホール ③11/14（土）・15（日） 鳥の劇場	アートマネージャーの育成と、魅力的な鑑賞機会の提供を目的として、県民から企画を公募。 西部地区：①ミュージカル「梨の花は春の雪」 ②「頭の中の千匹の蜂」米子公演 東部地区：③現代音楽家シリーズ 「音の個展Ⅰ」～物語から聴こえてくる音たち・新倉健～
【企画公募事業】 ワークショップ・フリースペースイベント参加体験型事業	◆西部 10/31～11/3 米子市公会堂他 ◆中部 11/7～11/8 倉吉未来中心 ◆東部 11/28～11/29 とりぎん文化会館	県民の方々が気軽に参加、体験し、文化芸術への関心と理解を深めていただくため、企画を公募。

(2) 実行委員会事業以外の主催事業

事業名	日程
第53回鳥取県美術展覧会	9/19(土)～11/23(月・祝) 県立博物館ほか ※詳細は下記のとおり
鳥取県青少年郷土芸能の祭典2009 ※日本のまつり・2009と併催	10/10(土) コカ・コーラウエストスポーツパーク
第45回郷土の民俗芸能大会 ※日本のまつり・2009と併催	10/11(日) コカ・コーラウエストスポーツパーク
ヤング・プロデュース・シリーズ チッチと♪(おんぷ)と小さな鍵	11/8(日) 倉吉未来中心

ほかに、鳥取県文化団体連合会に加入している団体が行う14事業が実施される。

(3) 参加事業 (110事業：平成21年7月31日現在)

※総合芸術文化祭の開催期間中に実施される上記(1)、(2)以外の事業が、県内各地で実施される。

例)「ブックインとっとり」、「第8回倉吉天女音楽祭」、「米子市秋の文化祭」、「第23回いわみ音楽祭」、「全国万葉フェスティバル in 鳥取」ほか

5 オープニングセレモニー

知事、教育長、鳥取県総合芸術文化祭実行委員会会長、鳥取県文化団体連合会会長等出席のもと、県展の開会式と併せて実施する。

- (1) 日 時 9月19日(土) 午前10時から
- (2) 場 所 鳥取県立博物館 玄関ホール
- (3) 内 容
- ・アンサンブル「コディー」によるフルート演奏
 - ・表彰式
 - ・オープニングセレモニー終了後、受賞作品講評及びギャラリートークを開催

<参考>

第53回鳥取県美術展覧会

会場及び会期 (いずれの会場とも会期中無休、入場無料)

地区	会場	会期
鳥取会場	鳥取県立博物館	9月19日(土)～9月28日(月)
米子会場	米子市美術館	10月10日(土)～10月19日(月)
日南会場 (選抜展)	日南町美術館	10月24日(土)～11月2日(月)
倉吉会場	倉吉博物館・ 倉吉歴史民俗資料館	前期(洋画・版画・彫刻・写真) 11月7日(土)～11月13日(金) 後期(日本画・書道・工芸・彫刻・デザイン) 11月17日(火)～11月23日(月・祝)

※ 日南町美術館の選抜展は受賞作品と日野郡内の入選作品等を展示。

万葉大好き先生 中西 進さんの特別授業「万葉集っておもしろい！」の開催について

平成21年8月21日
文化政策課

今年は、日本最古の歌集「万葉集」の最後の歌が、ここ鳥取で詠まれてから1250年目に当たります。奈良時代の天平宝字3（759）年正月、因幡国司として鳥取に赴任していた大伴家持が、因幡国の役人が集う新年の宴席で詠んだ歌が、万葉集4516首を締めくくる歌になりました。

この大きな節目の年に、万葉集最後の歌の生まれた地、鳥取において、万葉浪漫あふれるイベントを開催し、“万葉有終の郷（さと）・鳥取”を全国に発信していきます。

その第一弾として、万葉集のおもしろさに触れる特別授業「万葉集っておもしろい！」を、次のとおり開講します。

1 日時

9月5日（土）午後1時30分～3時

2 場所

鳥取市国府町中央公民館 多目的ホール（鳥取市国府町庁） ※無料駐車場あり

3 講師

なかにしすすむ
中西 進 氏（奈良県立万葉文化館初代館長、文化功労者）

万葉集研究の第一人者。学校に出向いて万葉集のおもしろさを伝える「万葉みらい塾」を全国各地で実施するとともに、「中西進の万葉こゝろ旅」（奈良テレビ）、「平成万葉の旅」（読売新聞連載）、「ナカニシ先生の万葉こども塾」（朝日新聞連載）などでも活躍中。

4 内容

中西 進氏による「万葉集の楽しみ方」の特別講義

5 授業料・定員

授業料は無料。定員は500人（先着順）。

6 申込方法

電話、ファクシミリ、電子メールのいずれかで、名前と参加人数を文化政策課に申し込んでください。（どなたでも参加いただけます。）

電話 0857-26-7839

ファクシミリ 0857-26-8108

電子メール bunsei@pref.tottori.jp

7 参考

天平宝字3（759）年、因幡国庁で大伴家持が詠んだ万葉集最後の歌

「新（あらた）しき 年の始めの初春の 今日降る雪の いや重（し）け吉事（よごと）」

（年の始めの今日降るこの雪が積るように、今年もよいことが重なってほしい）

8 その他

10月17日（土）、18日（日）には、鳥取市（国府町）を会場に、全国から万葉集を愛する方々にご参加いただく「全国万葉フェスティバル in 鳥取」を開催します。（主催：大伴家持顕彰実行委員会）

万葉衣装に身を包んだオープニングパレード、記念講演、シンポジウム、コンサートや、例年行っている万葉集朗唱の会、曲水の宴の他、万葉食試食コーナーなどを実施する予定です。

第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果概要について

平成21年8月21日

交流推進課

7月23日にモンゴル中央県で開催された「第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」本会議及び地域間会談の概要は下記のとおりでした。

記

1 会議概要

(1) 本会議

ア 日時 7月23日(木) 午前9時30分～午後0時30分(現地時間)

イ 場所 テレルジホテル

(2) 地域間会談

ア 日時 7月23日(木) 午後3時30分～午後5時(現地時間)

イ 場所 チンギスハーン施設

2 参加者

鳥取県	平井伸治知事
モンゴル中央県	ツェデブドルジ・エンフバト知事
ロシア沿海地方	ダリキン・セルゲイ知事
中国吉林省	ハンチャンフ 韓長賦 省長
韓国江原道	キムジンソン 金振旻 知事 ほか

3 結果等

- 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットがモンゴル中央県で、モンゴル国外務省も出席して友好的な雰囲気の下で開催された。
- 各地域の代表は、これまでのサミットの果たしてきた役割を十分評価した上で、今後の北東アジア地域の発展および現在直面している世界金融危機の克服のためには、経済分野をはじめとした更なる連携協力が必要との認識で一致した。
- 平井知事は、今まで積み上げてきたサミット参加5地域による強固な信頼関係を踏まえ、陸・海・空のインフラおよびネットワークを有機的に連携させた「ダイヤモンド・クインテット (Diamond Quintet)」と名づけた経済共栄圏構想を提案し、今後の人的物的交流をさらに促進していくように呼びかけた。
- また、平井知事は、6月に開設された境港・東海・ウラジオストクの定期貨客船航路の利用活性化のための協議会を立ち上げるようサミット本会議にて提案したところ、関係地域により協議会を創設することが合意され、「2009年6月に、境港から東海、そしてウラジオストクを結ぶ国際定期貨客船航路が就航したことに伴い、今後は、この航路を活用した観光、経済関係の活発化に向け、各地域政府間の具体的行動が必要となる。各地域政府は、貿易促進のため企業同士の取引を繋ぐ取組(ビジネスマッチング)の展開や、観光ルートの造成、文化交流・スポーツ交流などを促進し、地域相互間の人や物の往来を増やす取組について、協力関係を築き、具体的な行動を実施する」ことが宣言文に盛り込まれた。
- 今回初めて開催された鳥取県・江原道・沿海地方の3地域知事会談の際、あらためて鳥取県から協議会の設立について提案し、北東アジア地域航路活性化会議(仮称)の開催に向けた積極的な意見交換がなされた。そのために8月上旬に実務担当者レベルでの会合を開催し、9月の江原道でのEATOF開催に合わせ3地域の知事が参集し、正式に組織を立ち上げることに合意した。また、鳥取県と沿海地方の今後の交流についても活発な意見交換がなされ、さらなる交流促進と関係強化について確認した。

第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同宣言

ロシア連邦沿海地方知事 セルゲイ・ダリキン、日本国鳥取県知事 平井伸治、大韓民国江原道知事 金振旻、中華人民共和国吉林省長 韓長賦、モンゴル中央県知事 ツェデヴドルジ・エンフバトは、2009年7月23日、モンゴル中央県において「第14回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」に参加した。友好的かつ実務的な雰囲気のもと開催された同サミットにおいて、今後とも地域間交流や協力を発展させることを目的に、北東アジア地域交流・協力に関して幅広く意見交換を行った結果、以下の事項について合意した。

1. 各地域の相互努力により積み重ねられた、社会・経済・自然環境保全における現在の交流および協力のレベルを、さらに強化、拡大し、世界経済危機を各地域政府の協力によって克服すべく支援しあう。
2. 各地域に共通する環境問題の解決を図るために設置した「北東アジア地方政府環境保護機関実務者協議会」において、各地域の現実と直面している課題につき相互に情報交換を行い、問題解決に向けて協力する。なお、北東アジア地域における安定した発展並びに環境問題を解決するための国際的な事業の開催について、各地域で支援し合い、特に2009年10月6日から8日にわたって沿海地方にて開催される「国境なき自然」第4回国際環境フォーラムに積極的に参加する。
3. 地域共同発展のための貿易、通商、経済交流基盤造成のために、経済交流協力を推進し、物流運送ネットワークの構築及び海運航路開設、地域間の航路活性化のための協議体を関係地域により構成して、定期的な会合を持つことに合意した。また、既に設立された自由経済貿易特区の活性化への努力を繰り広げ、設立を推進しているところや計画中の地域の特区設立を積極的に支援する。
4. 2009年6月に、境港から東海、そしてウラジオストクを結ぶ国際定期貨客船航路が就航したことに伴い、今後は、この航路を活用した観光、経済関係の活発化に向け、各地域政府間の具体的な行動が必要となる。各地域政府は、貿易促進のため企業同士の取引を繋ぐ取組（ビジネスマッチング）の展開や、観光ルートの造成、文化交流・スポーツ交流などを促進し、地域相互間の人や物の往来を増やす取組について、協力関係を築き、具体的な行動を実施する。
5. 各地域政府は、各地域で開催される国際的なイベントや、それらイベントの開催に向けた活動に対して積極的に協力し、連携し合うことにつき合意した。この合意に基づき、2011年7月に開催地が決定される韓国江原道平昌冬季オリンピック誘致活動への支援、中国吉林省にて開催される「第6回北東アジア投資貿易博覧会」、2009年10月10日から11日に日本国鳥取県にて開催される「日本のまつり・2009鳥取」、ロシア沿海地方にて2012年に開催されるAPECサミット、2009年9月19日から25日にわたって開催される「太平

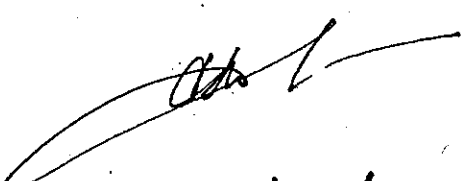
洋メルディアン」国際映画フェスティバルなどに積極的に参加し、各地域の発展のみならず、それら事業の各地域での知名度の向上に寄与していく。

6. EATOF会員の政府代表団は、2008年7月にモンゴル中央県で開催された第8回EATOF総会において合意した会員地方政府間の共同観光宣伝拡大および活用などを目的とする「チャーター便及びクルーズ船協議会」の結成を尊重し、国際クルーズ博覧会などでの共同マーケティングの努力を支援する。
7. 各地域政府は、地域発展や様々な分野における交流を促進すべく「北東アジア地域マスコミ代表者会議」、「北東アジア地域大学教授協議会」、「作品展示会」などを引き続きサミット時などにて開催し具体的に貢献するよう努力する。
8. 各地域政府は、将来の地域発展に寄与するような優秀な人材を育成するために、伝統文化・芸術・教育・スポーツ分野における青少年交流と協力の機会を作り、二地域間及びそれ以上の地域間にて開催される地域間の交流活動並びに会議等に参加する。
9. 来年度の会議を韓国江原道にて開催することを決定した。

この共同宣言を韓国語、中国語、日本語、ロシア語、モンゴル語でそれぞれ作成し、各地域で1部ずつ保管することとする。

2009年7月23日
モンゴル国・中央県

ロシア連邦沿海地方知事
日本国鳥取県知事
大韓民国江原道知事
中華人民共和国吉林省長
モンゴル国中央県知事



平井伸治

李仁仁

李仁仁

李仁仁

米子ーソウル便の利用状況及び利用促進対策について

平成21年8月21日
観光政策課

1 搭乗率及び予約状況

月	搭乗率	備考
6月	43.4% (前年同期66.7%)	確定値
7月	73.1% (前年同期55.1%)	確定値
8月	70.9% (前年同期61.3%)	8月17日現在
9月	52.3% (前年同期45.0%)	8月17日現在

※6月～8月を重点取組期間とした。

<インバウンド>

- ・韓国側の旅行需要に回復の兆しが見られ、各旅行会社からの送客が増加傾向にある。
- ・アジアナ本社とタイアップしたキャンペーンを実施中(7/15～8/31)
アジアナ航空のHPから航空券を購入された方に商品を進呈

<アウトバウンド>

- ・6月から実施中の官民挙げての緊急対策により利用が回復。
7月…今年2月以来、5ヶ月ぶりに7割台に達した。
- 8月…新聞広告等を活用した積極的なPRなどにより、順調に予約数が増加しており、昨年を上回る搭乗率で推移している。
- 9月…5～6月にキャンセルのあった団体旅行が再予約するなど順調。

2 搭乗率向上のための主な取組実績

- ・米子ーソウル国際定期便利用促進実行委員会と山陰国際観光協議会の統合(5/18)
山陰両県の官民連携によるイン・アウト両面からの利用促進組織として「山陰国際観光協議会」が発足。
- ・山陰国際観光協議会(米子ソウル便利用促進委員会)の開催(6/11)
新型インフルエンザ発生後の利用促進対策として団体旅行や貸切バス運行に対する支援拡充などを決定。
- ・会員各団体による取り組みを強化
 - <民間団体の取組>
広報誌による広報、視察旅行の実施、会員事業所限定ツアーの企画
互助会による利用助成制度の創設 など
 - <地方自治体の取組>
CATV「いなびびょんびょんネット」での広報(6月26日～27日)
広報誌及びホームページ等による広報及び職員利用
県内市町村への働きかけ及び職員利用 など

3 今後の主な利用促進対策

<インバウンド>

- ・ホームショッピングの実施による安定した乗客の確保
- ・鳥取県ソウル駐在員の増員による旅行会社へのプロモーション強化 など

<アウトバウンド>

- ・韓国以外の都市への乗継利用(仁川空港トランジット)の働きかけ
- ・鳥取県内で江原道の観光プロモーション(映画祭、観光説明会)を実施 など

環日本海貨客船航路の利用状況及び利用促進対策について

平成21年8月21日

観光政策課

1 旅客者の利用状況（6月29日～7月29日）

項 目	合 計	境 港 ～ 東 海	東海～ウラジオ
運 航 回 数	11回（往復）	7回（往復）	4回（往復）
延 べ 乗 客 数	3,326名	3,102名	224名
1往復当たり平均乗客数	302名	443名	56名

2 利用促進に向けた主な取組実績

<インバウンド>

①韓国の旅行会社に対する観光説明やプロモーション活動、旅行会社及びメディア招致を実施。

- ・韓国の主要旅行会社（韓国最大手ハナツアーほか）が旅行商品造成
特に大山登山ツアーが人気で毎週数百人の韓国人が来訪
旅行商品名：米子大山トレッキング3日、国立公園大山＋温泉＋鳥取観光4日 など
- ・現在販売されている7～8月の旅行商品の予約は延べ約4,500人
- ・ロシアの旅行会社も旅行商品の造成を検討中

②韓国の大学での広報宣伝や江原道内地方紙への誘客広告の掲出、ネット上での広報宣伝などを実施。

<アウトバウンド>

山陰及び東京・名古屋・大阪・山陽・四国の旅行会社へのPR及び旅行商品造成の働きかけを実施。

- ・読売旅行が7～10月の間の旅行商品を造成
上記旅行商品の販売も好調で8月14日現在1,300名を超える予約
- ・読売旅行は、11月以降も継続して旅行商品の造成・販売を希望
- ・その他の旅行会社も旅行商品の造成やチケット販売を希望

3 今後の主な利用促進対策

<共通事項>

- ・船内整備（日本語スタッフの充実、旅客運賃のアンバランスの改善 など）について
DBSクルーズフェリージャパン（株）へ働きかけ

<インバウンド>

- ・観光地や施設における外国人観光客の受入態勢の整備を関係機関へ働きかけ
- ・外国語の案内標示やパンフレットの整備等について、インバウンド活動支援補助金の活用について働きかけ

<アウトバウンド>

- ・持続可能な航路とするため、より多くの旅行会社に訪韓旅行商品を造成していただき、アウトバウンド比率を高めるための働きかけ